

地域学校協働連携NEWS



こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→

「総合的な探究の時間」最終報告会 ～県立只見高等学校～

2月2日(金)、県立只見高等学校の「総合的な探究の時間」最終報告会を取材しました。

只見高等学校の1・2年生は、地域の協力者からアドバイスを受けながら、地域の課題を解決していくプロジェクト学習を進めています。今年度2年生が取り組んできたプロジェクトは、昨年度の成果を引き継いだものであり、今回の発表は1年生へのプロジェクトの引き継ぎも兼ねています。

発表は地域の協力者の方も参観し、今までの取組や次年度へ引き継ぐ内容についてアドバイスをしていました。



各グループのプロジェクト内容
観光イベントの企画・実施 ツリーイングなど
新潟・福島豪雨の語り部活動や防災マップの作成
Instagram を活用した只見町の自然やイベントの PR 活動
トマト料理の開発やイベントでの提供 太陽のミートソース
観光者向け商品の開発 蒲生岳カレー・只見線コースター
只見を活性化させる新名物の開発 甘酒+只見町の特産物
Instagram を活用した只見町のイベントや只見線の PR 活動

「只見町が何を売り出したいか」に沿ってプロジェクトを考えるという発想は無かったので、その視点を教えてもらうことでプロジェクトの内容も深まりました。地域とのコラボを通して、つながりを強く感じました。

(只見高校生)



カレーの開発は新聞にも掲載されました。こういった子供たちの活動は、子供たち自身の学びにつながることはもちろんですが、大人が活動する以上に地域の PR にもなり、町としてもありがたいです。

(地域協力者の方)



協力者からのアドバイス

地域の方にアドバイスをいただく中で、何気なく生活しているだけではわからない町の様子に気付かされることがありました。(只見高校性)



地域の方も…
次年度の学習に向けて意見交換

総合的な探究の時間のコーディネーターの西田さんは「地域との協働学習を始めて3年目となり、地域の協力者が増えてきました。プロジェクトを担当する地域の方がつながりを生かして声をかけてくれているからだと思います。」とおっしゃっていました。

また、発表会の後は、プロジェクトを担当する地域の方が集まって、自主的に次年度の学習に向けて意見を交わしていました。地域の方たちが、子供たちの教育を全て学校に任せるのではなく、「未来を担う子供たちを地域で育てたい」という当事者意識をもって協力している姿が印象的でした。